

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1175300282 | | |
| 法人名 | 株式会社 寿エンタープライズ | | |
| 事業所名 | グループホーム北本 | | |
| 所在地 | 北本市北本宿195-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年11月12日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kohyo- |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------------|
| 評価機関名 | 有限会社 プログレ総合研究所 |
| 所在地 | 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-88逸見ビル2階 |
| 訪問調査日 | 平成22年11月29日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭菜園で野菜や草花を育てたり、金魚を飼育することを通し、本人の安らぎや精神的な穏やかさを保てる様援助させていただきます

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市民の保存運動により維持されている雑木林が施設の目の前にあり、季節の移り変わりが感じられ日当たりも良く環境に恵まれている。同敷地内にデイサービスが併設されており、年間を通じてデイサービス利用者と一緒にイベントを楽しんだり、ボランティアの訪問を受けて楽しめる環境が整っている。利用者が庭掃除を日課としており、家庭菜園では草花、樹木、野菜が育っており、瓢箪の収穫時には感動があったようで、室内に展示されている。リビングで手編みのレッグウオーマーを編んでいる利用者もあり、ゆったりと個人の楽しみを継続できる居場所が確保されている。職員のケアの成果が利用者の穏やかな表情に表れている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|--|---|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員の入職時には、理念の説明をし、各ユニット・玄関口・休憩室など職員の集う場所に掲示しています | 利用者の生活の場が、安全で安らげる環境であることを心がけてケアをしている。職員の就業年数が長いため、家族のような馴染みの関係が無理なく築かれており穏やかな雰囲気がある。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 日々の散歩を通して近隣の人達が挨拶や声をかけて下さる事も増えてきています。また通りすがりの方が挨拶をして下さることも増えてきています | オーナーが隣接地に居住しており、自治会にも入会している。ホーム前の道等で、自転車利用の人々も挨拶を交わしたり、自治会の運動会に招待され、希望者が参加、見学している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域事業(体育祭・運動会・芋ほり)へ参加することで、グループホームや認知症の方々の接し方など、地域の方にも徐々に理解していただいています。また北本市のグループホーム他合同で作品展覧会を行いました | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 自治会長・民生委員をはじめとして入居者、家族の皆さんの意見や情報の交換ができています。また民生委員さんはじめ4名の地域の方が防災訓練に参加して下さいました | 定期的に開催できている。自治会長、民生委員の理解が得られ「ソバ打ち会」「防災訓練」に参加協力を頂いている。市町村、地域包括支援センターと連携も取れており意見交換ができています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 分からないことがあると市役所に直接出向きアドバイスを受けております。また市役所主催:地域密着型事業所連絡会に参加しています。 | 各種の書類の手続きを円滑に行えるよう、市役所には折りにふれ直接訪問し、随時相談、指導を頂けるような関係が構築されていることが確認できる。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 接遇マナー向上委員会を通し、職員間で話し合い、日々のケアに取り込んでいます | 日々のケアの中で言葉使いに対して「指示命令形」の言葉かけをしていないか、職員は常に振り返りを行い、利用者を尊重する支援を実施。日中は玄関の施錠はせず出入り自由である。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 人生の先輩として尊敬し、かつ各々の現状を踏まえ、言葉使い等に気をつけることを職員一人ひとりが心がけています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在は必要とする入居者がいない為活用されていません。個々に学習し、要支援時には活用していきたいと思えます | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書に明示されており、契約時に家族・本人に説明をし、同意も得られています。またご家族にコピーを事前にお渡しし目を通して頂いています | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 契約書には内部及び外部への相談窓口を記載していると共に、面会時や催事の際になるべく各家族と話をし意見を吸い上げ、可能な事は運営に反映するよう努力しています | 家族からの意見交換の場を積極的に設けており提示された意見要望には、職員全員で検討し、可能な限り、実現に向けて家族、利用者と話し合い、ケアプランに活かせるよう努めている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 全体でのミーティングもありますが、個人の意見も聞くようにしています | 各職員の意見を随時取り上げている。ホーム全体のシステムに影響するような、大々的な意見はないが、管理者は職員一人ひとりのケアの経過を聞くことにより、状況を把握している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 必要な研修については会社負担での受講や各種資格を設けると共に、休日日数(年間120日)やシフトの融通性をもって就業環境の整備に努めています | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 希望する外部研修は許可制とし、伝達講習を義務付け、知識や情報を共有しています。OJTでは職員同士でよりよい方法を考え合う事で質の向上に努めています | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市役所主催の交流会に参加し、情報交換やケアについての相談などを気軽に話し合える状況にあり、施設単独ではなく、地域全体でサービスの向上に努めています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご本人の背景や思い・要望をお聞きしたり、行動・会話・表情等を踏まえ、安心して生活して頂けるよう努めています | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族の気持ちを十分に伺いながら信頼関係の構築に努めています | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人の背景や性格・状態等をよくお聞きし、必要であればDr.と家族の話し合いの場を設けたりしています | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 温かい関係、していただける役割等出来ることも大切にし、一方的な介護にならない様気をつけています | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご本人と家族の関係を十分に理解し、状態をお話ししたり相談したりして、ご本人を支えていけるよう家族との関係づくりに努めています | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 友人や民生委員などへ希望があれば連絡をとったり、馴染みの場所へお連れするなど、関係が継続される様支援しています | 面会者も多く、入居前の近隣住民との関係も継続されている利用者もおり、馴染みの美容室への外出支援も可能であり、気軽に立ち寄れる環境作りに努め、地域にアピールしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様だけのレクリエーションだったり、間に職員が入ったり、スムーズな関係、楽しい時間、その方に合った過ごし方ができる様努めています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 便りや電話(行事の誘い)等にて連絡をとるよう努力しています | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご本人に定期的にお聞きしたり、行動・会話・表情等で把握するよう努めています | 日々の生活の中で、折りを見て話しかけ、会話の中から思いを汲み取るよう努めている。十分に意向を表わすことが出来ない利用者に対しては、想いを引き出すような会話、手話で対応している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | センター方式を利用し、生活歴や暮らし方の把握に努めています | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | モニタリングや日々のケアの中で一人ひとりの現状の把握に努めています | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | モニタリング、カンファレンスをもとにご本人・家族等の意見も伺い、それぞれの意見を活かし、現状に見合った介護計画を作成しています | 家族の訪問がある時は必ず意向を伺っている。随時の連絡も欠かさず、ケアカンファレンス及びモニタリングの実施を継続している。利用者の想い家族の意向が反映できる計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 細かい事でも記録として残し、スタッフ間での情報の共有を密にしています。そこからよりよい実践、介護計画へ活かせるよう努めています | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 病院対応や銀行・買い物同行、または状況に応じ家族の送迎等その時々に応じ対応しています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の行事やサークル活動等、一人ひとりに合った地域参加を行っています。またボランティアの訪問もして頂いています | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 週1回の歯科往診・月2回のかかりつけ医の往診にて医療支援を行う中で、医師と入居者の良好な関係が築けています | 定期的にかかりつけ医の往診、歯科医の往診の支援が行われている。外部受診に対しては家族か或いは職員が支援し、緊急時には協力医療機関等に連絡し、対応している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 本年5月より訪問看護を導入したことにより、より細かな相談ができ、助言を受け、受診や日々のケアに反映させています | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中や退院時に情報交換・相談に努めています(病院にお見舞いに行きお話しをお聞きしたりサマリーを取寄せるなど) | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 家族や医師と十分に話し合いながら、職員間同士のケア統一を図り、適切なケアを行っています | 最終的に看取りはどこで行うか入居時に意向を伺っている。終末直前迄のケアに対しては支援する体制があるが、医療処置の段階からは医師の判断に任せることを、家族に納得して頂けるよう説明している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルを作成し、それに沿った対応を行ったり、職員同士で対応の統一を図るよう努力しています | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に防災訓練をし、職員は避難方法の再確認を行っています。また近隣の消防署との連携を図っています | 2階から利用者を職員二人対応で階下へ避難する訓練の実施。又、地域住民(自治会関係者、民生委員等)の協力のもと避難訓練を実施している。 | 実際に実施した時の利用者の感想を踏まえて再度避難方法の確認と地域住民との信頼関係の強化に努め、災害時には避難所として地域に貢献できるように働きかけていきたい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 長年人生を過ごされて来たことに敬意を持ち、言葉や対応の仕方で傷つけることがない様に気を付けています | 利用者の尊厳を守り、トイレの誘導等周りの利用者への配慮をしながら随時速やかに、一人ひとりに対して細やかな援助ができるように声かけし入浴拒否に対しても無理強いしない様、努めている | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 介護者の押し付けにならない様に、自己決定ができる環境・関係をつくり、ご本人の希望や好みをお聞きしたり、その時々表情等で判断する様心がけています | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の状態・ニーズで、その方のペースを大切に出来るゆったりした支援を大切にしています | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 好みや希望、個性を活かしたおしゃれができるように支援しています。また日常服を褒めたり、身だしなみも忘れない様気遣っています | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜の皮むきや盛り付け、食器を拭く等出来る事は一緒に行って頂いています。また入居者の方と職員と一緒に食事を摂り楽しい時間となるよう努めています | 利用者の体調に配慮しながら職員と協力をして、準備、後片付けを一緒に行っている。利用者から教えて頂くことも多く、歳時記に合わせたおやつ等楽しみながら作れる環境作りに努めている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりに合った食事量や形態(ミキサー・刻み)で対応しています。水分摂取の少ない方にはゼリー等で対応しています。また、その人の状態や習慣に応じた柔軟な対応をしています | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 声かけ・見守り・一部介助・介助にて、その方に応じたケアをしています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 出来る限り布の下着を使用し、トイレで排泄できるよう排泄パターンを把握し、声がけ誘導しています。歩行困難な方も介助にてトイレで排泄して頂いています | 利用者の身体状況をよく把握し無理のない排泄介助を実践している。できる限り布の下着の着用を勧めているがリハパンの選択もできる。排泄パターンの記録を取り失禁しない援助に繋げている | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘しやすい方には、水分やバナナ等なるべく多く摂っていただき、腹部マッサージや身体を動かして頂いています。必要な方には水分や食事量のチェックをしています | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 体調により時間をずらしたり、日課でウォーキングをしている方には都合の良い時間に合ったり可能な限り対応し、無理なく楽しく入浴して頂ける様努めています | 週三日、午後のみ入浴介助を行っている。拒否があっても週二回は入れるよう声かけている。隣接のDSに温泉設備があり年に数回(正月等)に入浴し、利用者に喜んでいただいている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜の就寝時間、昼の休息時間は個人にお任せしていますが、昼夜逆転等不眠に繋がることがない様に配慮しています | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員が薬について理解し確実に服薬される様支援しています。また症状の変化を見逃さない様に努めています | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 毎日のレクリエーションや職員との個々の会話やかかわり、また行って頂ける事(食器拭き、食事の下ごしらえ、裁縫・編み物、ホーム周りの掃除、水槽の水替え等)役割を持って頂いています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望があれば可能な限り(郵便局、銀行、買い物、サークル活動等)個別に対応しています | 自立支援の一環として個々の希望に応えられるよう外出に関しては積極的に支援している。花見目的のドライブ、外食会等の計画をたて、気分転換を上手に行い、日常の中に楽しみが感じられる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人で管理出来る方はお任せし、希望はあっても難しい方はご家族と相談し、ご本人が安心出来る様、少額をこちらでお預かりし、希望される時に確認して頂いています | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人の希望に沿い支援させて頂いています | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日々清潔安全を心がけて、心地よさ、季節感のある飾りや草花を置くなど温かみがあり、安心できる空間を心がけています | ホームの前の木々の様子で、四季の移り変わりがわかり散歩時に花摘みをして室内に飾っている。各部屋の冷暖房は自己管理だが、全体の空間は職員の管理において適温の維持に努めている | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個室やフロアおよび和室があり、一人になれる場所と、皆と楽しく過ごせる場所があり、一人ひとりに合った過ごし方が出来る様な工夫をしています | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人の使い慣れた家具、仏壇等自由に配置し、居心地の良い空間となる様配慮しています | 各自の居室においては、過ごしやすさを一番に考え、快適に過ごせるよう家具の配置等、家族・利用者と相談している。自室の掃除は、安全面を十分に考慮し、できる場所は利用者に行っていただくようにしている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレや各居室ドアに名前を貼るなどの工夫や、同線を考えた家具や飾りの配置を行っています | | |